アフターコロナ、ウィズコロナの「新しい国体のかたち」へ
「三重とこわか国体・三重とこわか大会」開幕１年前特集

2021年9月25日に開幕予定の「三重とこわか国体・三重とこわか大会」。三重県では46年ぶりに開催される国体を盛り上げるべく、地元の三重版で「開幕１年前特集」を実施しました。

新型コロナウイルスの影響で、今秋予定されていた鹿児島国体は異例の延期が決まり、一時は三重県での開催も危ぶまれました。今後もコロナと向き合うことが避けられない中、アフターコロナやウィズコロナの「新しい国体のかたち」を示すことを目標として、当初の会期で開催の準備を進めていくことが決定しました。

特集では鈴木英敬三重県知事のインタビューを掲載したほか、国体・大会で注目されるチーム・選手を取り上げ、開催に向けた意気込みを語っていただきました。

「オール三重」で取り組む国体・大会をより一層盛り上げるため、今後も関連特集を実施していく予定です。

名古屋本社 広告三部 三重アドセンター

2020年9月25日付 中日新聞朝刊 三重版　25面▲　26面▶

地元の三重版で「開幕１年前特集」を実施

第76回国民体育大会「三重とこわか国体」、第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」

開催時期：2021年9月25日～10月5日（とこわか国体）、10月23日～10月25日（とこわか大会）

実施競技：全75競技（とこわか国体）、全14競技（とこわか大会）

46年ぶりに三重県で開催！